

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔衣料品・ 雑貨〕（経営者） 百貨店（担当者）	・冬場は新商品の投入を抑えて3月以降に大量に発売するのは今回初めての試みだが、売上増加は十分期待できる。 ・例年よりも暖かい2月であるが、冬物セールから春物の入荷により目先が変わり、順調に売上が伸長している。食品においては暖冬傾向による商品単価の低下等により生鮮が若干苦戦しているものの、ギフトを中心とした銘店が好調であることから、店舗全体においては3～4月以降の新生活に伴うモチベーション需要により比較的堅調に推移する。
		その他飲食〔居酒屋〕 （経営者）	・歓送迎会等で売上が増加する時期ではあるが、リーズナブルな宴会パックと観光客向けの外商を始めており、例年よりかなり多くの予約が入ってきている。
		観光型ホテル（商品企 画担当）	・稼働率としてはほぼ前年並みで推移する見込みだが、単価の上昇で収入面はやや良くなる見込みである。
	変わらない	スーパー（経営者）	・今年は旧正月が2月、去年は1月でずれているが、1～2月の合計でも売上高は前年度を上回っており、チラシ販促の強化及び天候にも恵まれたことが結果として表れている。今後は販促状況にもよるが、あまり大きな変化は無い。
		コンビニ（エリア担 当）	・季節的要因で売上高の増加は見込めるが、これは毎年の事である。来客数の減少、客単価の微増している状況は今後2～3か月後も変化は無いと判断できる。
		コンビニ（エリア担 当）	・米飯類のヒット商品も出ず、弁当屋も毎年増え続けており、コンビニの主力商材が落ちている。コンビニでは弁当を買わないという傾向は来客数の減少に直結する要因の一つであり防ぎようがなく、今後も続く。
		衣料品専門店（経営 者）	・テレビ等で景気回復等の話がよく耳にするが、地方ではそれほどの影響は無い感がある。ここ数か月の売上、数字をみても変化は感じられない。
		その他専門店〔楽器〕 （経営者）	・色々好況の話は聞こえているが、沖縄は競合店の増加で競争が厳しく価格競争になって、利益が減少している。
		観光名所（職員）	・2月の沖縄への入域観光客数は温暖な気候、沖縄ブームで前年同月比を大幅に上回っていると予想される。これから先も大きな変動要因は見当たらず、沖縄への入域観光客数は順調に推移する。
		やや悪くなる	観光型ホテル（営業担 当）
		ゴルフ場（経営者）	・例年どおり本土からの来客数の減少が確認されているが、その傾向が強まっている。
	悪くなる		
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		広告代理店（営業担 当）	・県内企業の新年度予算策定状況からみて、大幅な予算増額という動きは見受けられないが、県外・海外資本のホテル・不動産などを中心とした新規企業の設立に伴う県内向けの販促活動が活発となる。それに伴い、食品関連メーカー等を主とした納入業者の販売数量も増大する。
	変わらない	食料品生産業（管理部 門） 通信業（営業担当）	・円安、更なる金利上昇、原料肉類や副資材類の高値安定が要因で、しばらくは現状維持で推移する。 ・引き合い案件に特段目立った動きは無いので、2～3か月先も現状維持で推移する。
		会計事務所（所長）	・大企業の業績が上向いているにもかかわらず、それが広告費に反映されないように、業種によって業績の差が顕著に表れてくる。
	やや悪くなる 悪くなる	建設業（経営者）	・問い合わせ及び引き合い件数が減少している。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		学校〔大学〕（就職担 当）	・県内外で採用活動が早まっている。また、観光及びITの求人者が継続しておう盛である。さらに県内の建設業が持ち直して求人を増やしている傾向にある。また、県知事の失業率改善意欲に伴って県内の雇用環境が良くなる感触がある。
	変わらない	求人情報誌製作会社 （営業担当）	・企業自体の業績は上向きではあるものの、人材確保が優良企業に偏りすぎる傾向がある。そのため中小・零細企業が確保が難しく業績に反映されず、現状と変わらない。

	学校〔専門学校〕（就職担当）	・県外は採用活動がそろそろピークの時期であるが、県内はこれからである。今後県内企業の採用活動が前年度より前倒しもしくは同時期程度の動きがあれば好調と評価できるが、まだ見極めが難しい時期である。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-